



2022年2月10日

各 位

会 社 名 **太洋物産株式会社**

代 表 者 名 代表取締役社長 柏原 滋

(コード：9941 東証JASDAQ)

問 合 せ 先 総務部

役 職 ・ 氏 名 マネージャー 井坂 勇登

電 話 (03) 5946-8000

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年11月12日に公表した業績予想を下記の通り上方修正することとなりましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2022年9月期 通期個別業績予想数値の修正 (2021年10月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 18,038	百万円 94	百万円 36	百万円 25	円 15.28
今回修正予想 (B)	18,409	121	64	44	28.09
増減額 (B-A)	371	27	28	19	
増減率 (%)	2.0	28.7	77.7	76.0	
(ご参考)前期実績 (2021年9月期)	16,423	224	171	113	83.53

修正の理由

当第1四半期累計期間における我が国の経済は、2020年1月頃から顕著になった新型コロナウイルスの世界的な蔓延に対して、依然として収束が見通せず、経済活動の先行が見えない状況の中、当第1四半期会計期間末を迎えました。

このような環境の下、当社の主要事業である食肉関連において、牛肉並びにタイ産加工食品は、産地価格の高騰や現地生産工場のコロナ禍での操業停止等の影響により売上高が減少しましたが、鶏肉は、東京2020オリンピックの延期による在庫過剰感にも落ち着きがみられてきたことにより、売上高・取扱数量ともに大幅に増加させることができました。

農産品では、玄蕎麦は産地価格の高騰や、国内市況の影響で売上高・取扱数量とも減少しましたが、大豆並びに緑豆は順調に売上高・取扱数量を伸ばすことができました。また、2020年9月期から取引を始めた中国のネット通販事業者向け商材の販売は、中国市場の潜在的需要の高さを背景に、取扱商品を着実に増やすことができ、取引を大幅に伸ばすことができました。

輸入豚肉に関しては、前事業年度に商流等の変更があり、新たな商材開拓に取り組んでおります。コロナ禍での営業活動が制限される中でも、売上高・取扱数量とも増加となりました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は52億2百万円(前年同四半期累計期間比 25.4%増)、

営業利益 1 億75百万円(前年同四半期累計期間は営業損失 6 百万円)、経常利益 1 億62百万円(前年同四半期累計期間は経常損失21百万円)、四半期純利益 1 億36百万円(前年同四半期累計期間は四半期純損失10百万円)となることから、2021年11月12日公表の2022年 9 月期業績予想を上方修正し、売上高を184億 9 百万円、営業利益 1 億21百万円、経常利益64百万円、当期純利益44百万円とさせていただきます。

(注) 本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上